かえる便り 29年度17号

平成２９年８月１８日

残暑の候、皆様にはご健勝にてお過ごしのことと存じます。夏休み中、多くの保護者並びに卒業生から差し入れをしていただきありがとうございました。衷心よりお礼を申し上げます。

“観”とは　よく見る　細かに見る　注意してみる　という意味です。細かく注意してみるから　思考することが出来ますね。“感”は、何かに触れて心が動く。つまり、感覚器官によって刺激を受け“意味のある行動”を起こすことだと思います。

残念ながら、大分遠征の初日の在り方を考え直さないといけないように感じています。部員を観察していると　観と感　が欠落しており、物見遊山になっているように思います。また、視覚から受けた刺激が心を揺さぶっていないから行動に変化がないと感じるからです。試合中の行動も然りです。力不足を痛感しますね…

大分と広島の遠征が重なるため、卒業生にサポートしてもらいました。その彼が『自分はこの夏の遠征で殻を破る切っ掛けをもらった』、『自分の甘さを初めて感じ、自分を変える努力をした』と話していました。その時は、サッカーは勿論ですが、大自然の素晴らしさから学んでくれた部員が多くいたように思います。「自然の素晴らしさと禅海和尚の行動力と姿勢に感銘を受けた」と記す人が多くいた…